

始動する日本の排出量取引

—— 自主参加型国内排出量取引制度の経験と今後の展望 ——

京都議定書目標達成計画(2005年4月閣議決定)において、国内排出量取引制度はポリシーミックスの一手法として、他の手法との比較やその効果、産業活動や国民経済に与える影響等の幅広い論点について、総合的に検討していくべき課題とされています。これを踏まえ、環境省では

- ・ 国内排出量取引制度に関する知見・経験の蓄積
- ・ 自主的・積極的に排出削減に取り組もうとする事業者をCO₂排出抑制設備導入又は検証費用について補助支援することにより、追加的な削減努力を引き出すこと。

を目的に、自主参加型国内排出量取引制度を2005年度より運用しています。

同制度の第一期事業(2005年度開始分)は本年8月末に終了し、現在は有識者から構成される評価委員会による評価を受けております。

本シンポジウムでは、自主参加型国内排出量取引制度の第一期事業を評価、総括し、その成果や知見を広く紹介するとともに、排出量取引に関する今後の行方を展望していきます。

日 時 2008年1月17日(木) 13:30~17:20

会 場 都市センターホテル3F コスモスホール

(http://www.toshicenter.co.jp/location/j_9000.htm)

主 催 環境省

時 間	講 演 者	テ ー マ (仮)
13:30~13:40	開会挨拶: 環境大臣 鴨下 一郎	
13:40~14:10	早稲田大学大学院 法務研究科 教授 大塚 直 氏	基調講演: 自主参加型国内排出量取引制度の評価と展望
セッション1: 自主参加型国内排出量取引制度の成果と今後の展望		
14:10~14:30	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 市場メカニズム室長 高橋 康夫 氏	自主参加型国内排出量取引制度の概要
14:30~14:45	(株)日立製作所 都市開発システムグループ ソリューション統括本部 主管技師 坂内 正明 氏	自主参加型国内排出量取引制度の経験
14:45~15:00	日本電気硝子(株) 環境管理部 下村 真司 氏	自主参加型国内排出量取引制度の経験
15:00~15:10	質疑応答	
15:10~15:30	休 憩	
15:30~15:45	兼松(株) エネルギー部 直売課長 青木 淳一郎 氏	自主参加型国内排出量取引制度の経験
15:45~16:00	(財)日本品質保証機構 地球環境事業部 次長 山本 重成 氏	自主参加型国内排出量取引制度における排出量の モニタリングと検証
16:00~16:10	質疑応答	
セッション2: 国際的な炭素市場の動向と日本の展望		
16:10~16:40	国連環境計画・金融イニシアチブ 特別顧問 末吉 竹二郎 氏	排出量取引制度の国際連携の動向について
16:40~17:10	アーガス・メディア・リミテッド 日本支局 代表 三田 真己 氏	国内クレジット取引市場の現状と課題
17:10~17:20	質疑応答	
17:20~	閉会挨拶	

参加お申込は
こちらから

<http://www2.convention.co.jp/jvets/>